

マルホン工業(株)
CR PRINCESS TENKO

新連載!! ノッチ永野の「パチンコ塾」勝つための必勝指南

ぱちかる

パチンコ・パチスロ 趣味・文化・エンタメ誌

パチンコ・パチスロ カルチャー
略して ぱちかる

2007
Feb. 2 月号 隔月発行
500円



第11回 PACHICUL インタビュー

著名人が語るパチンコ・パチスロミニ文化論

歌手・女優 鈴木 早智子
司会業、タレント 大木 凡人
タレント 三宅 梢子



PACHICUL 巻頭インタビュー

生涯女優・そして生涯パチンカー

中村 Tamao Nakamura

中村玉緒

さん語る



パチンコ
パチスロ

深夜が
ゴールデンタイム
番組は百花繚乱

ひやつかりょうらん

パチンコ昭和史
半世紀前から
暗躍していたゴト師たち

©PRINCESS TENKO

第3巻第1号(通巻11号) 2007年2月号 2006年12月21日発行(隔月刊)

我らのカズキが、今度は映画の話で 韓国のソウルに登場



韓国の一大歴史ドラマと “いじけむし”のアニメ

ホントだかウソだか見当つかない「奇妙天烈摩訶不思議」のカズキ。ホンマがいな…などと首をひねっている間に、今度は映画の話で韓国のソウルに登場。日本の共同通信に当たる「ニューシズ」が取材して、一般メディアの新聞、雑誌などに大きく取り上げられているのだ。

カズキが向かったのは、韓国のデフスターというプロダクション。日本、韓国に事務所を持つI.T.ジャパンを紹介してのことだが、話は映画プロデュースのこと。

カズキが向かったのは、韓国のデフスターというプロダクション。日本、韓国に事務所を持つI.T.ジャパンを紹介してのことだが、話は映画プロデュースのこと。

韓国歴史的な人物リ・スイシンを、日本



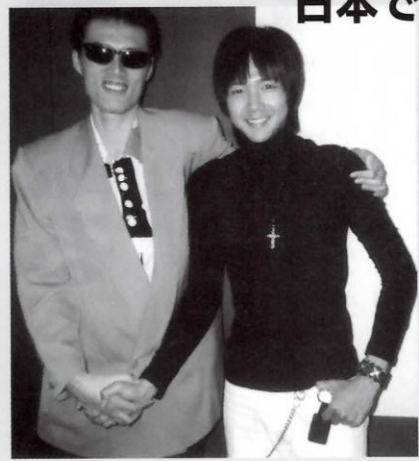
アニメ映画になるキャラクター「いじけむし」



韓国で会見中のカズキ(中央)、その右側がミゾガミ、左側がシズク

「当もつかないが、もう一本、具体的な話としてカズキ考案の『いじけむし』がある。こちらはアニメだか、もう一つは、オリンピック・イベント。こちらはI.T.ジャパンからの話で、北京のあとの招致を、東京と争っているソウルが企画しているらしい。実施予定が07年2月で、冬ソナのロケ地での開催を考えている。韓国のスターをはじめ、日本

カズキが韓国の若手俳優を日本でプロモーション



韓国のKBS放送は日本のNHKのような存在だが、この局の大河ドラマに主演しているジャン・グンソク君。この新人の日本売出しを、カズキが頼まれたわけだ。

ジャン君、日本では『着信アリ』(ファイナル)に出演。今後、日本でも火が点くかもしれない。

カズキとジャン・グンソク君(右)



PROFILE

カズキ、身長190センチ、体重はなんと55キロしかなく、20歳代後半から変化なし。現在40歳独身。睡眠は1日に3時間以内。食事は多くて日に2食。主食はチョコ3箱とコーラ4缶。

からのミュージシャンなども出演する予定だが、ここにカズキ、シズクが登場する…という段取りだ。

なお、これらの企画はカズキを中心としたシズク、ミゾガミが構成するネオックスファミリーの契約。ちなみにミゾガミは、本誌『運氣開命術』や『頁下占い』の又巳矢青(さいや・しょう)のことだ。